

★通常事業評価シート【R7年度実施事業／まちづくり推進部交通まちづくり課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰・何をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	バリアフリー化事業	平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている	高齢者、障害者、児童その他すべての人が安全で快適に移動できる環境を整えるため、道路や鉄道駅舎のバリアフリー化を推進する。	バリアフリー化事業の進捗管理	1：少し近づいた	継続	-	1,505	1,505	高齢者、障害者、児童その他の人が安全で快適に移動できる環境を整えるため、道路等施設管理者による事業化が必要。	引き続き、事業進捗状況についての把握に努める。	
2	交通安全対策事業	事故や犯罪などに巻き込まれない生活が送れている	交通事故を防止するため、交通安全思想の普及を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室の実施 交通安全イベントの実施 自転車用ヘルメット購入支援事業の実施 	4：大いに近づいた	継続	4,762	6,773	11,535	特に若年層に対する交通安全意識の向上が課題	効果的な交通安全教室や各種イベントの実施に努める	
3	交通安全団体支援事業	事故や犯罪などに巻き込まれない生活が送れている	市民に交通安全教育等を普及するため、交通安全団体に対して支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 交通指導員の活動支援を行う。 	3：おおむね近づいた	継続	2,268	8,278	10,546	持続可能な体制の構築	持続的に活動を行っていただけるよう引き続き支援を行う	
4	地域交通充実事業	にぎわいや活力を支える基盤が整っている	交通弱者や路線バスの利用が困難な市民の交通利便性向上と路線バス等の運行の存続を図るため、バスやタクシー等を運行する事業への支援を行う。自転車活用の推進を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 路線バス等運行支援 生活交通導入促進 バスまちスポットの設置 	3：おおむね近づいた	継続	134,302	11,288	145,590	交通弱者や路線バスの利用が困難な市民の交通利便性向上と路線バス等の運行の存続を図るためにも、更なる利用促進と支援制度の維持。	路線バスの維持のためにも、バス事業者と連携し利用促進を図る。	
5	交通政策検討事業	にぎわいや活力を支える基盤が整っている	目指すべきまちの将来像を実現するため、総合的な公共交通ネットワークを形成する。	<ul style="list-style-type: none"> 路線バス乗り込み調査 スマートシティの推進 人流動態システムを用いた解析 	4：大いに近づいた	継続	55,318	11,288	66,606	目指すべきまちの将来像を実現するため、総合的な公共交通ネットワークの形成。	生活交通確保に向けた地域における機運醸成	
6	総合交通戦略事業	にぎわいや活力を支える基盤が整っている	泉北構想鉄道延伸・大阪南部高速道路事業化の推進をするため会議体の運営支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 泉北構想鉄道延伸に向けた会議体運営支援 大阪南部高速道路事業化推進に向けた会議体運営支援 	3：おおむね近づいた	継続	20	2,258	2,278	泉北構想鉄道延伸事業化については、山直東のまちづくりを見据え、大阪府や鉄道事業者との協議が必要。	近隣市との勉強会を開催し、事業推進の機運醸成を図る	
7	立地適正化計画推進事業	にぎわいや活力を支える基盤が整っている	良好な土地利用の実現を推進するため、立地適正化計画の策定、調整及び進行管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 進行管理 	3：おおむね近づいた	継続	470	1,505	1,975	進行管理、分析を行い、実効性のある計画の推進が必要	計画に記載の施策の推進、進行管理を行う	
8	区画整理組合等許認可事業	にぎわいや活力を支える基盤が整っている	安全かつ快適な住環境の形成等を実現するため、区画整理事業の許認可を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 76条許可申請 法125条に基づく組合検査 	4：大いに近づいた	継続	-	4,110	4,110	山直東地区で組合設立認可を行ったため、引き続き適切な協議及び手続を行う	各種手続きについて予め事業スケジュールを関係者と共有しながら事前調整を行う	
9	インフラマネジメント事業	持続可能で信頼される行政になっている	インフラの着実な整備等を図るため、都市基盤施設におけるマネジメントサイクルシステム構築及び進行管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> インフラメンテナンスマネジメント委員会の開催 地域インフラ群再生戦略マネジメント(群マネ) 庁内多分野連携の検討 	2：一定近づいた	継続	8,082	5,268	13,350	今後増大するインフラ維持管理における費用、職員不足に対する手法	広域連携、多分野連携を両輪で検討し、本市に相応しい維持管理手法の検討を行う	
10	交通まちづくり課管理事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う。	<ul style="list-style-type: none"> 課内の庶務事務 	5：達成した	継続	759	18,923	19,682	-	-	